

日本洋装界の歴史は日本洋装協会の歴史



NDA公式 YouTube

発行所 一般社団法人 日本洋装協会

一般社団法人 日本洋装協会
事務局 〒113-0034
東京都文京区湯島4-8-3-307
TEL (03)3814-7023
FAX (03)3814-7023
発行人 伊賀 玲子
編集人 三結イツ子
年3回発行 リビ 裕子
高橋 里子

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は皆様のお力添えを頂き、一年間無事に終えることができました。心から感謝申し上げます。四月には「第六回NDAクチュールコレクション」を華やかに開催し、その中で洋装協会独自のジャケットプロトタイプ三体の発表もでき、とても意義のあるコレクションとなりました。八月の東京国際フォーラム「匠の技の祭典」では、ファッションショーや展示に加え、実演コーナーも設け、とても大勢のお客様をお迎えすることができました。十二月には目黒美術館区民ギャラリー



新年のご挨拶

(一社)日本洋装協会 会長 伊賀 玲子

新年明けましておめでとうございます。ようやく街中に活気が溢れ人々が徐々に戻って参りました。昨年は温暖化の影響で、衣替えや服選びに頭を悩ませた方も多かったと思います。我が国には四季があり季節に合った服装を選ぶことで装いも新たに気分も明るくなったように感じます。誰かと出会うとき、イベントに参加するとき、お洒落なお店で食事をするときなど洋服はその方の個性を映し出し、ウキウキした



新年のご挨拶

(一社)日本洋装協会 名誉会長 山東 昭子

気持ちにさせてくれることでしょうか。日本洋装協会の皆様におかれましては更なる技術の向上と世の中の流行を先取りする進取の精神を持ち続け今年も益々活躍されることを願っています。本年の辰年は先見の明や人の先を行く年だと言われています。皆様のご活躍で世の中に新風を吹き込む洋服が数多く生み出されることを願い、新年の挨拶といたします。

令和6年1月19日(金) 場所 ホテルグランドヒル市ヶ谷(珊瑚) 皆様奮ってご参加ください。

一計報 名誉会員 吉田彌栄様が令和5年11月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- NDAニュース
令和4年度 特級合格者 既製服縫製作業 一級合格者 堀 志保美(福岡県) 百万石の名工 酒井 啓子(石川県)
令和5年度 全投連マイスター認定 坂本美世子(栃木県)
令和5年度 国家検定婦人子供注文服製作 一級合格者 谷垣 真依、山本 純子、光森 潤子、小林恵美子、吉田 啓子
二級合格者 羽二生明子、田中 桜子、小柴真由美、田中 敬、下島 里美、伊藤 陽子、滝口 昌代、中川奈美子、小田島久美
令和5年8月29日~9月3日 千田芳江先生の作品10点VR美術館に展示
秋のセミナー
「ドレスの作り方」(講師 伊賀玲子)
東京洋装協会
令和5年11月1日 第41回全国技能士大会・懇親会
令和5年11月10日~12日 ソイイングル・AISHIDA(湯布院)
第7回生徒作品展&即売会
令和5年11月17日~20日 第61回技能五輪全国大会
令和5年11月19日 愛知県国際展示場
「アトリエSen&ソイイング教室」ファッションショー(佐藤千鶴子)
令和5年11月21日~26日 伊賀玲子アトリエ洋裁コレクション
茨城県つくば美術館
令和5年12月6日~10日 オートクチュールコレクション展
(一社)日本洋装協会主催作品展
目黒区美術館・区民ギャラリー
令和5年12月16日~18日 宮城県支部72周年記念&東北地区10周年記念合同作品展(高野秋子)
令和5年12月23日 パターン検定1・2級講習会
東京都立東横職業能力開発センター(綾瀬校)
令和6年1月19日 新年祝賀会
ホテルグランドヒル市ヶ谷(珊瑚)
令和6年2月23日 第32回技能グランプリ大会 北九州

REPORT No.69

ものづくり・匠の技の祭典 2023

黒澤 旬子(神奈川県)



「ものづくり・匠の技の祭典」が、2023年8月4日から6日まで、東京国際フォーラムにて開催されました。日本の伝統的な匠の技と最先端のものづくり技術が集結した、衣・食・住・工を見て体験できるイベントです。日本洋装協会では、出展ブースで生方の作品販売や、体験コーナーと共



地から選り、ビーズで好きなように装飾してドレスを縫います。子供たちは、真剣な表情で針を持って縫い、大好評でした。今年は子供たちだけではなく、男性の参加者も数名いて、針を持つのは初めてだけど、ものづくりは楽しいと喜んでいました。最終日の8月6日は、メインステージにて、「オートクチュール・コレクション」の技2023」と題したファッションショーへの参加もありました。カジュアルからフォーマルドレス等、モデルが装い、ステージから客席まで降りて回るショーに多くの観客は魅了されました。ステージ実演はオンライン配信もあり、視聴者プレゼントとして、当協会からも手作り作品を提供いたしました。

世界に誇る日本のさまざまな匠の技を見て、聞いて、体験できる楽しいイベント「ものづくり・匠の技の祭典」。次回はぜひ、ご来場して頂き、多くの方に参加して頂きたいと思ってきました。

検定部からのお知らせ
令和5年度職業訓練指導員 48時間講習のご案内
新型コロナウイルス感染症拡大により例年と受付の流れが異なります。東京都内在住の方を優先とさせて頂きます。
受講申請
職業能力開発協会に電話で受講希望を申告して下さい。
03(6631)6051
受講申請を行ってから書類を提出して下さい。
会場
東京洋服会館3Fジェントリーホール
新宿区市ヶ谷八幡町13
対象者
1級技能検定合格者
受講料
12,500円(希望者テキスト代 4,620円)
問い合わせ 検定部 白井まで
024(364)3946
講習期間及び受付日
定員 各回40名
受付期間内でも、定員になり次第受付を締め切らせて頂きます。
会場日程は今後、中止、変更となる場合があります。
\*各都道府県の職業能力開発協会にお問い合わせ下さい。

地区だより
ハワイ マウイ島火災支援募金活動
栃木地区代表 坂本美世子(栃木県)
全米史上最大の山火事災害となった昨年八月のハワイ マウイ島への支援救済として、栃木県洋装技能協会と共に栃木地区は佐野市を代表するフラダンスイベント「佐野アロハフェス2023」(ハワイ栃木県人会栃木事務所主催)で緊急募金活動を施行しました。
フラ会場は華やかな衣装や髪飾りを身にまとい、美しく優雅なフラダンスを披露された県内外から参加の皆様から「今こそ、日本からマウイ島に復興の思いを届けたい」との願いの中、多くの浄財が寄せられました。
当日は、カラフルで可愛い本場ハワイアン生地をもとに、化粧ポーチや小物入れ、トートバック等々、当協会会員が丹精込めたオリジナルグッズを販売し、その販売金全額を「\$800の小切手」化し、その浄財を現地ハワイアロハライフ協会を通じて寄付しました。被害者のご冥福をお祈りするとともに、マウイ島が一日でも早く復興する様、皆様と折り合いと思ひます。
左端 金子裕(佐野市長)
救済募金活動QR

### 黄綬褒章受章を祝う会

ホテル雅叙園東京 伊賀 玲子



令和5年7月22日(土)ホテル雅叙園東京「夢扇」にて、黄綬褒章受章祝賀会を開催させて頂きました。コロナの影響で、2年程延期をしておりましたが、なんとか夢の祝賀会を開催することができました。

発起人の中田相談役のご挨拶を皮切りに、ご来賓の山東昭子名誉会長のお言葉を頂き、大関東支夫様のお祝辞そして白瀬一郎顧問の乾杯のご発声、とても和やかな祝宴の始まりとなりました。

私が一番夢に描いていた憧れのファッションショーの始まりです。私にとっても思い出深い赤いバラの豪華なドレスでのオープニングが舞台を華やかに彩ってくれました。21点もの作品が、素敵な音楽と、素敵な4人のモデルさんとの共演で、とてもあでやかにショーが進みました。最後は、さざ波のフリルをふんだんに使ったウエディングドレスで、優雅に舞い、締めくくることができました。大勢の先生方にお世話になりました。本当にうれしい夢のファッションショーになりました。

私が一番夢に描いていた憧れのファッションショーの始まりです。私にとっても思い出深い赤いバラの豪華なドレスでのオープニングが舞台を華やかに彩ってくれました。21点もの作品が、素敵な音楽と、素敵な4人のモデルさんとの共演で、とてもあでやかにショーが進みました。最後は、さざ波のフリルをふんだんに使ったウエディングドレスで、優雅に舞い、締めくくることができました。大勢の先生方にお世話になりました。本当にうれしい夢のファッションショーになりました。

りました。美味しいお料理と共に皆様との歓談、温かいお言葉を頂き、本当に幸せな時間でした。生徒の皆さんからの祝福のメッセージも頂き、華を添えて頂きました。私は日本洋装協会に入会する前から千田先生の元でコンクールに出品し始め、その後ずっと欠かさずことなく挑戦しており、そのお陰様でたくさんの方の作品が私の宝となりました。技能コンクールに感謝すると共に洋装協会に感謝でございます。

何より諸先生方、皆様にご感謝の気持ちです。ありがとうございます。どうぞ、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



ファッションショーフィナーレ



山東昭子先生のご祝辞

### 芯とミシン針のセミナー

佐藤 順子(東京都)

今年度(令和5年度)に入り、当協会も色々な情報・セミナーをwebを使って少しずつ行なっています。第一回目は、七月に東海サーモ様による接着芯のセミナーでした。接着芯も一度使うとあまり変えることがありませんが、東海サーモ様より新しい芯についての情報や布地との相性とトラブルの見分け方・芯を選ぶ時のポイントと注意点などお話しいただきました。

第二回目は、九月にオルガン針様のセミナーを開催しました。ミシン針なのにブランド名はオルガン針の由来や、ミシン針の種類と使い分け、トラブルなど、知っているようで知らない話が目からうろこでした。一回一時間余りのセミナーですが、今更聞けないことなどをこれからは色々皆様に情報提供していきたいと思っています。もちろんwebでも参加出来ますので皆様の参加をお待ちしております。お知らせは、当協会HPやInstagram、Facebookにて発信しております。

新入会員  
小林恵美子(茨城県つくば市)  
峰 早百合(長崎県長崎市)  
賛助会員  
池田 幸代(東京都渋谷区本町)

### 秋のセミナー

Haute couture を学ぶ  
教育部 佐々木悦子

清秋爽やかな日、十月二十一日、東京洋服会館ジェントリーホールが、徐々に賑わしさを増してきた。コンクールフォーマル部門にて、数々の華麗な賞を受賞されている伊賀玲子会長の講習会とあつて、楽しみに駆けつけた方の熱量が伝わって来る。扇形の会場には、オートクチュールの精緻な手工芸の技が冴える作品を配し、格調高さは華やきを添えていた。

注目のビスチェは、接着芯の使い方にポイントが見られた。接着芯の特性を駆使してボーンを固定する。美しいシルエットの秘密はここに有りと、前めり度熱心に耳を傾けていた。スカラップレースのピンワークや、薔薇の花作りは、もはやマジックの様。Zoom配信での参加者が想像以上に多く、未来の講習会の有り様と可能性を知る。配信では、佐藤理事長、石原さんには大変お世話様になりました。来年の洋装技能コンクールに思いを馳せて、緊張感が漲る。



### 株式会社川島織セルコン文化館

〜日本最古の企業博物館を訪ねて〜

千田 芳江

私は四年前、川島織物セルコンのカーテン地でドレス「紅梅と鶴」を製作し、今年四月、京都の表記の博物館を訪ねました。次の文は会場の説明文と複数の書物他を抜粋編集したものです。

◎川島織物の歴史は一八〇年になります。十六万点もの貴重な資料がこの博物館に所蔵されており、日本の織物文化の歴史を知ることができるとあります。◎一八四三年初代川島甚兵衛が西陣で「悉皆業(染物・洗張) 開業。二代甚兵衛が川島織物を創設。事業拡大を進めた。一八八六年海外視察でゴブラン織りに出会い、古代からの綴織を改良。綴織と紋織を主とした生産体制を整えさらに美術工芸品として著名な画家の原画を当時の一流の画家が模写、創作、下絵にして綴織、紋織の壁掛製作開始。伊藤若冲「大鶏雄雌図」原画以下業績を部 一九〇二年頃 綴織壁掛門別に纏めました。◎皇室・宮内庁関係 一九八一年宮内庁御用達となる。明治宮殿、玉座、赤坂離宮、昭和宮殿の室内装飾、豊明殿壁掛、御料車室内装飾他



伊藤若冲「大鶏雄雌図」原画

◎正倉院一九九三年正倉院宝物染織品の復元調査開始。二〇〇五年までに

復元模造品十五点作成終える。◎万国博覧会、内国勸業博覧会 一八八九年パリ、一八九三年シカゴ他に綴織壁掛、室内装飾を出展。高度な日本文化と織物技術を世界に知らしめた。◎綴織綴帳一八八二年世界最大の二四メートル二〇センチ幅の綴織機設置。一八九五年第一号平安神宮大極殿綴帳、一九八三年東京帝国劇場綴帳。他◎呉服関係 唐織能装束、男物羽織、裏、和服地、帯、紗、絹など薄物、化粧服地。他◎二〇〇六年 一九八三年綴織技術と刺繍技術神戸インテリア「セルコン社」と合併。川島織物セルコン社誕生。



能装束「都名所」 一九八三年綴織技術と刺繍技術

◎断機の訓え 一九二一年明治宮殿御用品綴織壁掛の織り途中で、一本の糸の色落ちを発生した三代当主の絹子夫人は、夜中に経糸を切断した。川島織物の妥協を許さないものづくりの基本精神を示したものです。七年後に御用品は納品された。

以上伝え足りませんが、この文化館で目にした緻密な美術工芸品や重厚な歴史には多大な感銘を受けました。

### 第五回伊賀玲子(黄綬褒章受章記念) 洋裁アトリエコレクション

伊賀玲子洋裁教室 田澤 貴子(茨城県)

深まりゆく秋の候、去る十二月二十一日から六日間に亘り茨城県つくば美術館に於いて「伊賀玲子洋裁アトリエコレクション」が華やかに開催されました。四年に一度の当コレクションは回を重ねて五回目を迎え、更に今回は先生の黄綬褒章受章記念と冠し社中一同、心を一つに時間をかけて準備して参りました。

広い美術館には先生の歴代のコンクール作品や生徒の個性溢れる作品約百十点が展示され、スポットライトに照らされた景色は正に圧巻で、観る人に感動をもたらしました。今回新たな試みとして洋裁技法の解説コーナーを設けました。ビスチェの土台作りや変形ファゴティングをより簡単に、より美しく仕立てるために独自に考案された「伊賀流」と称される技法を先生自ら解説され、お客様に大変好評でありました。ドレスに仕立ててしまうと隠れてしまう裏側にとっても手間のかかる手仕事も施されていることがお客様に伝わり、根気のいる作業に感嘆とため息が漏れ、制作者の



美しく装うことの素晴らしさを自ら作らる喜びを味わえる伊賀玲子洋裁教室。これからも先生のご指導を仰ぎながら精進して参ります。四年後の作品展に向かっています。



美しく装うことの素晴らしさを自ら作らる喜びを味わえる伊賀玲子洋裁教室。これからも先生のご指導を仰ぎながら精進して参ります。四年後の作品展に向かっています。